

## 天声人語

先月来、元号史を調べる必要から『易經』など漢籍をたびたび開いた。難解ながら現代語訳は何とかわかる。きのう探したのは「忖度」。『詩經』の中ほどにあった。(他人心有らば予之忖度す)。拙訳では、人の邪心を推量するのはたやすいの意か▼「インスタ映え」と並んで「忖度」が流行語大賞に選ばれたのは、おととしのこと。森友・加計問題をめぐる国会審議で幾度となく使われた。野党の追及も下火になり、昨年の後半からはこの語を聞く機会が減る▼「私、すごく物わかりがいいんです。すぐ忖度します」。そう述べた塙田一郎・国土交通副大臣が辞任した。首相と財務相の歓心を買うため、両氏の地盤を結ぶ橋を架けてみせると大見えを切つたのである。「厳重注意」で済まされる話ではない▼気になつて「忖度」の用例を調べてみた。菅原道真や福沢諭吉も使つているが、例は多くない。推量や斟酌の意で、善惡の含みはない。現在は悪いニュアンスが前面に出て、しかも頻繁に使われる。『詩經』以来、数千年に及ぶ忖度史上、初めてのことではないか▼自分や派閥領袖の選挙区に道路や港湾、空港を誘致するような政治家の厚顔なふるまいは、今に始まつたことではない。我田引水ならぬ我田引鉄、我田引港である。それについても今回ほどあからさまな我田引道の発言は珍しい▼関門海峡を結ぶこの道路、いつか思惑通りに完成したとして何と呼ばれるのだろう。「安倍麻生道路」か。はたまた「忖度道路」か。

2019・4・6